

平成31年度事業報告

(総括)

今年度は各部会ごと、特色ある事業活動を積極的に行ってまいりました。朝陽地区の長年の懸案事項であります、地域活動拠点施設の早期建設実現に向け、今年度も建設整備促進対策委員会を中心に、施設の概要を取りまとめてきました。朝陽地区未来トークを開催し、長野市へ要望していく予定でしたが台風災害により、実現できませんでした。

今後とも、総合施設設備は朝陽地区としての最重要課題として、対策委員会で提言をまとめ、住自協より市へ早期実現に向け活動してまいります。

また、令和元年10月の19号台風災害復興に向けて、朝陽地区として被災地への応援のため、地区内へ義援金の募集並びにボランティア派遣要請等、行ってきました。幸い朝陽地区には、被害はありませんでした。

さらに、ながのまちづくり活動支援事業として、「要支援者」の災害時助け合も含めた住民の「支え合いマップづくり」を区単位で策定してきました。今後も継続して実施いたします。

「あさひかがやき事業」においては、昨年引き続き実行委員会を中心に、前年栽培の菊芋を収穫し、焼酎の予約注文を実施するとともに、地区内で開催された夏祭りでの「朝陽市場」による地元野菜等の販売を行いました。

今後の課題

- (1) 総合的地区活動拠点整備の早期実現の推進
- (2) 市立公民館の(仮称)コミュニティーセンター化の検討
- (3) 「朝陽地区災害対策本部」(仮称)の設置を検討

〈総務部会〉

住民自治協議会組織活動の活性化と地域づくりの推進を図るため、活動を進めてまいりましたが、当初予定した事業のいくつかは10月の台風災害の発生で中止をせざるを得ませんでした。以下事業ごとに報告をします。

1 まちづくり計画関連事項の推進

(1) 都市計画道路等朝陽地区関係事業の推進

東外環状線建設対策委員会・合同委員会の開催、地区内の道路網整備の推進（東北地区道路問題懇話会等で要望提出）

(2) 公共施設の充実に向けた活動

総合施設建設に向け建設整備促進対策委員会は、5月に新役員選出（委員長…春原登氏（H24年度区長会長）事務局長…上原事務局次長）した。

2 「あさひ かがやき事業」

「旧一支所一モデル事業」を名称変更し、実行委員会（年6回開催）中心に活動してきましたが、10月の水害被害のため事業を縮小せざるを得ませんでした。

朝陽市場：7月20日（土）北堀区で開催の「あさひ・ふるさと夏祭り」に出店

11月17日（日） AC長野パルセイロ応援ツアー

3 「朝陽地区ながの未来トーク」の開催

11月2日開催で準備を進めてきましたが、10月災害の発生で中止。未来トークでは以下の3点を準備しました。

- ①朝陽総合施設の早期建設要望
- ②水害対策について
- ③太陽光発電施設設置に関するガイドラインの規制強化

4 朝陽地区戦没者等追悼式の開催 9月23日（月） 51名出席

戦没者等の皆様に不戦を誓い、追悼式が厳粛のうちに執り行われました。

5 地域における男女共同参画の推進

総務部としての開催を見送りました。

女性リーダー養成講座（年6回の連続講座）には4名が参加し、また2月には参加者による交流会を行いました。

6 東部文化ホール10周年事業の取組み

東部5地区（古里、長沼、柳原、朝陽、大豆島）の努力によって建てられた東部文化ホールは2020年に10周年を迎えることから、5地区の代表が集まりプレコンサートを2019年12月1日予定で準備してきました

が、災害発生のため未定延期となりました。5地区の相互交流となるこの取り組みを大事にしていきます。

7 組織等検討委員会の開催

昨年度から「住民自治協議会会長と区長会長の分離」について、精力的に調査・研究を積み重ねていただいた結果、昨年12月19日に答申がされました。答申は「住自協会長と区長会長が兼務する、現行方式が適当と考えます」でした。またここに至る検証の結果と提案が付されています。その主なものは①住自協会長・区長会長の負担軽減策の検討、②朝陽地区としての災害発生に対する組織を準備、③住自協の中長期にわたる視点での事業計画策定と、検証の必要、④区長会と総務部会の位置づけも含め、現状に即した無駄のない住自協の組織の在り方を検討する、等です。

この答申に基づき、今年度は住自協各部行事の挨拶の見直しを行いました。会長職としての各団体長等の兼務の解消に向けては引き続き検討をしていきます。

また災害発生に対する組織の検討を行ってきました。残念ながら年度内結成には至りませんが、次年度に引き継ぐ重要なテーマになります。

8 台風19号水害への朝陽住自協としての取り組み

台風19号は千曲川の穂保地区での堤防越水・堤防決壊の状況をもたらし、10月12日深夜に朝陽地区に避難指示が出されました。この経緯を受け、朝陽住自協は以下のような動きをしてきました。

10月17日（木） 災害支援打ち合わせ（緊急役員会・事務局）

義援金・タオル・ボランティア呼び掛け相談

10月28日（月） 緊急区長会 災害支援打合せ・駐車場ボランティア等について

10月30日（水） 駐車場ボランティアスタート（各区持ち回り）

12月22日（日）まで

11月27日（水） 緊急拡大総務部会（台風19号災害時の朝陽の諸課題について）情報・避難勧告・避難指示・災害後等に各区の動きや諸課題について報告しあい、課題を整理。

以後区長会・総務部会 朝陽地区災害対策本部（仮称）の設置に向けて検討を行う

朝陽地区住民のご協力により以下の成果を上げる事が出来ました。

義援金 4,004,866円

タオルは軽トラック30台相当量

駐車場ボランティア（ホクト駐車場、富士通駐車場）延べ300人弱

また、この経過の中で「朝陽地区内の情報がつかめない、避難指示のタイミングに迷った」等々、災害対応が大変不十分であることを私たちは痛感しました。この教訓を生かし、災害に対応できる体制づくりを目指すために、①「朝陽地区災害対策本部」（仮称）の設置、②防災訓練の拡充などを検討してきました。

〈安全・防災部会〉

安全・安心なまちづくりを進めるとともに、地域で見守り・支え合える仕組みづくりを目指し、年7回の部会を開催し、自主防災、防犯活動、交通安全などに係る事業を実施しました。

1 防災対策事業の推進

(1) 水害防止用土のう点検整備及び水防訓練の実施

6月8日（土） 参加者60名

長野市消防局鶴賀消防署東部分署及び長野市消防団朝陽分団のご指導・ご協力のもと、土のう点検整備及び水防訓練等を実施しました。

(2) 防災携帯無線機による通信訓練（災害想定）の実施

原則として、毎月10日午前9時から実施しました。

10日が土・日の場合は直後の平日に行いました。

(3) 防災携帯無線機について 7月17日（水）

新たに防災携帯無線機1台・バッテリー2台を購入し、桜新町区に無線機・バッテリーを1台ずつ貸与し、バッテリー1台は予備と致しました。また、北長池区の無線機1台を修理致しました。

(4) 防災研修会の開催

今年度は2回の防災研修会を開催致しました。

防災研修会①の開催 6月29日（土）参加者59名

水害防止対策委員会・千曲川左岸堤防改修対策委員会と共催で、山梨大学大学院総合研究部工学域土木環境工学系教授 末次忠司氏に千曲川左岸堤防改修事業に関連する講話をしていただきました。

防災研修会②の開催 7月2日（火）参加者32名

「地域の防災力をアップしよう」をテーマに元長野市総務部危機管理防災監の越 正至氏に講話をしていただきました。

研修会終了後は、朝陽地区自主防災会連絡協議会総会を開催致しました。

(5) 防災講座の開催 11月2日（土） 参加者33名

災害時こどものところと居場所サポート副代表の小野道子氏に、「災害時における避難所での子どもの居場所づくりについて」の講話をしていただきました。

- (6) 防災施設視察研修 10月1日(火) 参加者26名
日本赤十字社長野県支部歴史資料館と長野地方気象台の視察を行いました。
- (7) 「もしもの安心メモ」カードの配付(11月下旬)
朝陽地区全戸に「もしもの安心メモ」カードの配付を致しました。

2 防犯対策事業の推進

- (1) 防犯研修会の開催 7月9日(火) 参加者72名
長野中央警察署生活安全第一課長の近藤俊也氏による講話・DVD上映を開催しました。
- (2) 夏季及び年末防犯パトロールの実施
夏季・・・7月5日(金)から7月27日(土) 参加者138名
年末・・・11月30日(土)から12月13日(金) 参加者137名
各地区の役員、防犯指導員、防犯女性部員、少年育成委員等のご協力を得て実施しました。
- (3) ポスター、立看板等による啓発活動の実施
長水防犯協会幹旋の、「春の地域安全運動」、「夏の地域安全運動」、「全国地域安全運動」、「年末特別警戒」等の看板を各地区、朝陽公民館、朝陽支所に配付し、掲出を依頼しました。

3 交通安全対策事業の推進

(交通安全協会朝陽支部・交通安全推進委員会が主体)

- (1) 交通安全街頭啓発活動の実施、以下の活動に参加してきました。
ア 春の交通安全運動 イ 夏の交通安全やまびこ運動
ウ 秋の交通安全運動 エ 年末の交通安全運動
- (2) 市道等の白線塗布の実施
交通安全推進委員会、各地区育成会等が行う白線塗布事業における物品要望調査及び物品調達を実施しました。

〈環境美化部会〉

地域の生活環境の改善及び住み良いまちづくりを目指して、各区の環境美化活動を支援してきました。また、次世代に向けて地球温暖化防止の啓発活動も推進してきました。

1 生活環境改善の取り組み

- (1) 長野市の5月・10月の「ごみゼロ運動」に併せ、春・秋に各区毎に大掃除・河川清掃を実施(事前に各種清掃用具等を各区に配布)
- (2) 千曲川屋島橋周辺での探鳥会と河川敷清掃を実施
6月23日(日) 参加者52名

探鳥会 講師2名(日本野鳥の会 藤田伸二先生・小林富夫先生)

清掃 公共用ゴミ袋 可燃11袋、不燃2袋・

プラスチックケース・発砲スチロール各1個回収

- (3) アメシロ・マイマイガ防除事業の実施
各区へ防除剤・焼殺器を配布
- (4) 不法投棄防止事業の実施
各区へ不法投棄防止用等啓発看板(合計62枚)を配布
- (5) ごみ集積所補助事業の実施
各区に「ごみ集積所維持・管理交付金」を交付(合計:198,900円)

2 地球温暖化防止への取り組み

- (1) 生ごみ自家処理実践講座の開催(長野市実践講座と共催)
9月28日(土) 参加者29名
- (2) エコドライブ講習会・小型地球儀スフィア講座の開催
11月24日(日) 同時開催 参加者22名
- (3) 資源回収協力報償事業の実施
19団体 132,000円(30年度:18団体136,000円)

3 視察研修会の開催

- (1) ながの環境エネルギーセンター(大豆島焼却場)
11月14日(木)の予定でしたが中止
※台風19号により長野市に甚大な被害が発生、今回中止を決定

〈社会福祉部会〉

「支え合い安心のまちづくり」をテーマとする平成28年度に策定した朝陽地区第二次地域福祉活動計画、5か年計画(29~33年度)に基づいて、3年目となる平成31年度は、5つの基本目標の実現に向け取り組んでまいりました。

台風19号による千曲川の決壊、また新型コロナウイルス感染症予防対策により、集会等の中止指示で、計画していた福祉大会等の事業を中止せざるを得ない結果となりました。

1 支え合うまちづくり事業

地域包括ケアシステムの構築を目指し、各区の協議体づくりでは、朝陽地区の中心となりその推進力となる「協議体」“ささえ愛あさひ”が平成30年3月に発足し、以降17回にわたる研修会(ワークショップ形式)を開き、情報の共有を図り取り組んでまいりました。また、「ささえ愛あさひ通信」を随時発行、回覧し、広報に努めております。

各区においても「協議体」づくりが進み、29年桜新町、石渡、30年度には北屋島、北長池、南堀が設立し、新たに令和2年1月に北尾張部が設立

されました。

また、30年度から各区へ「協議体」運営費の一部を補助しています。「支え合いまちづくり研修会」（ながのまちづくり活動支援事業）は安全・防災部会と協働して取り組んでまいりました。

2 オレンジカフェ

オレンジカフェの新たな展開です。平成29年に北尾張部地域の「まめカフェ」が誕生し、続いて、北堀地域の皆さんの協力により、「オレンジカフェきたほり」の誕生、本年度は、社会福祉法人〈ケアハウスあさひ〉内にオレンジカフェ「ハynesあさひ」が誕生し毎月第2木曜日に開催している。

3 はつらつ健康体操

はつらつ健康体操クラブは平成29年から続々と誕生し、高齢者が集い、一つの居場所となっています。地域包括ケア推進課から指導員を派遣要請し、5回の指導を受け、それぞれ区のクラブ代表の指導のもと運営されています。令和2年1月に北尾張部区が仲間入りしました。

4 社会福祉大会

社会福祉大会は10月26日(土)に「支え合うまちづくり」をテーマに各区の取り組み状況のワークショップを予定したが、10月12日の台風19号による甚大な被害が発生し、復旧に向けた取り組みにより大会を(2月29日)に延期しました。今回の水害の現状を見たとき、「忘れられている朝陽地区の災害の歴史を学ぶ」をテーマに変更し、北屋島区在住の丸山 剛先生に講演を依頼し準備をしていたところですが、「新型コロナウイルス感染症」の発生に伴い集会等の自粛要請もあり、再度福祉大会の中止を決定しました。

なお、本年度新設した「福祉功労者表彰」については、3月22日(日)に10名の皆様宅を各戸訪問し実施しました。

5 視察研修(新潟市)

8月28日(水)～29日(木)新潟市を訪問し(参加者24名)、河田珪子さんが主宰する「実家の茶の間紫竹」(基幹型地域包括ケア推進モデルハウス)を視察、交流。一軒の空家を借り上げ地区の皆さんのよりどころとしてボランティアの皆さんが運営されている。翌29日には「早道健康福祉会館」見学と地域コミュニティー協議会との交流を行った。

6 児童福祉事業

(1) 放課後子ども総合プラン運営委員会の運営

5月14日(火)、9月2日(月)

(2) 朝陽小学校体育館改築に併設する新児童センターの工事が令和3年3月完成に向け進められている。開校に向け「放課後子ども総合プラン」の運営を検討。

「新型コロナウイルス感染症予防対策」では、学校は休校ですが、子どもプラン(児童センター・子どもプラザ)は、開校しています。

(3) 子育て支援赤いほっぺ事業、毎月第1、3水曜実施。育児相談を行いました。また、月1回朝陽小学校5年生を受け入れ(総合学習)しました。

なお、子どもの少子化に伴い、朝陽公民館主催の「あさひっこ教室」と「赤いほっぺ」との合同開催について、5月開催に向け協議している。

(4) 朝陽小学校4年生の福祉体験学習(車いす、アイマスク、白杖)に協力

7 子ども食堂

(1) 朝陽団地のママさんを中心とする親子が運営する「まんぷく食堂」を世代間交流と位置付け、積極的に支援しました。朝陽団地集会所、北長池公会堂で月1回開催されています。

8 福祉懇談会

(1) 地区別福祉懇談会を11月に8区の開催、台風19号による甚大の災害の状況から、災害時の連絡体制や、避難行動、避難場所等をマップ上に落としながら検討されました。

生活支援体制「ささえ愛あさひ」の研修会、及び各区の協議体の活動と連動し、懇談会が地域課題の解決に向け、年々実り多いものになっています。

9 地域たすけあい事業

(1) 福祉自動車2台による通院支援

利用人員 466名 回数1749回(1月末現在)

(2) 家事援助による支援

利用人員 91名 回数354回

10 高齢者事業

(1) 傘寿お祝い(80歳)、「おしゃれ風呂敷」 39名に贈呈

絵手紙を添えて贈呈

(2) ふれあいの旅 於:湯っ蔵んど 29名参加 10月18日(金)実施

(3) 高齢男性のための料理教室 年8回実施 延べ128名参加

講師のお手伝いとして福祉推進員の協力 16名

1.1 地域福祉事業

(1) 福祉推進員活動

お茶のみサロン・ふれあいの集い（各区実施）ふれあいの旅、傘寿の祝

1.2 広報活動

(1) 社協だより 48号～51号

(2) 赤いほっぺ通信 年2回発行

1.3 ボランティア事業

(1) ボランティア研修・交流会 2月1日（土）35名参加

1.4 企画会議

(1) 毎月第2（火）と第4（火）に実施

事業の調整、企画立案、執行の段取り、運営の諸問題他全般にわたり協議を行っている。

(2) 社会福祉部会

毎月第3火曜日に会議を行い、事業の検討・事業の執行にあたるほか、各区の諸問題の情報交換をおこなっている。

(3) 福祉推進員会

委嘱式・研修会の実施

1.5 生活支援自動車

地域福祉ワーカー、たすけあい事業コーディネーターの活動を保証するために、31年4月に公用車（軽自動車リース）導入活動しています。

1.6 事務局体制

令和2年1月から地域福祉ワーカー（生活支援コーディネーター）として河原田智子さんを雇用、活動中です。

〈健康増進部会〉

健康増進部会では、今年度も朝陽地区の皆さまの健康づくりを目指し次の事業を実施しました。

1 健康講演会

(1) 9月1日（日） 10：00～朝陽支所2階にて 参加者41名

1回目 「バランスの良い食事の講習会」をテーマに塩分控えめでも美味しい料理のコツについて

講師：栄養士 山岸 朋美 先生

- (2) 11月9日(土) 2:00～ 朝陽支所2階 参加者55名
2回目 「あなたの血管は？」をテーマに食生活について講演をいただきました。

講師：小谷医院 院長 小谷 素子 先生

2 健康講座

「軽体操とボッチャ講習会」指導：健康指導士 工藤 千恵先生

1回目 1月26日(日) 朝陽公民館体育館にて 参加者 34名

2回目 2月2日(日) 朝陽公民館体育館にて 参加者 30名

3 健康推進員研修会 7月6日(土) 10:00 参加者 39名

「怪我等の緊急対応について」

講師：長野市消防局鶴賀消防署東部分署 所長 倉島 今朝継様

「健康について関心を持ちましょう」

講師：三陽保健センター 保健師 丸谷 由紀様

4 健康だより(回覧)3回発行しました

第20号 9月1日発行

掲載内容：ながのベジライフ宣言・怪我等の緊急対応について他

第21号 12月1日発行

掲載内容：減塩ポイント・フレイル予防他

第22号 3月1日発行

掲載内容：メタボリックシンドローム予防の10か条・

歯とお口の健康情報他

健康増進部会では今年度、部会の活動及び各区での活動用にボッチャ用具を3セット購入しました。申込み先：朝陽地区住民自治協議会事務局

〈教育・文化部会〉

青少年の健全育成・地域文化の発展及び子ども・高齢者・障がい者等の人権が尊重される明るい地域づくりを目指し、次の事業を行いました。

1 青少年健全育成関連事業

(1) あいさつ運動

年間を通しての運動を展開し、6月は第58回強調月間、9月は第59回強調月間と位置付け、通常の白色幟旗を、一部黄色幟旗に交換し、各地区役員に協力いただき児童等の登校時間に合わせ街頭啓発運動を実施。

(啓発運動延べ人員6月、236人 9月、225人 計461人)

(2) 地域と学校との連携懇談会の開催 7月13日(土) 参加者83名

当地区関連学校(朝陽小・信大附属小・三陽中・東部中・長野東高・

長野盲学校・信大附属特別支援学校) 8校の協力をいただき、子ども達並びに学校の諸問題・課題等の意見交換を実施

(3) 第41回青少年健全育成推進大会の開催

10月19日(土) 参加者72名

- ・講演内容「インターネット問題の要因と社会背景」

～少年はなぜのめり込む程に集中してしまうのか～

- ・講師 長野市教育委員会 少年育成センター 主任指導員 西澤 剛氏

(4) 少年育成委員会による街頭巡回指導・環境浄化活動の実施(8回)

朝陽地区少年育成委員12名が、3班に分かれ地区内(一部区外)の人の集まりやすい場所(コンビニ、公園、神社境内、駅周辺等)パトロール、及び学校、交番との情報交換

2 育成会連絡協議会関連事業

(1) 朝陽育成会少年野球、サンライズ杯野球大会、朝陽少女ソフトボールクラブへの支援

- ・少年野球 (部員30名)

Aチーム 22大会参加 内優勝3回 準優勝2回 その他練習試合29回

Bチーム 7大会参加 内優勝1回 準優勝1回 その他練習試合13回

Cチーム 2大会参加 その他練習試合4回

- ・少女ソフトボールクラブ (部員12名) 11大会参加
内準優勝2回 3位3回 その他練習試合9回

(2) 第27回朝陽地区綱引大会の実施

11月3日(日) 参加者347名 選手230名

低学年優勝：北尾張部B 準優勝 北堀B

3位 桜ファイヤーズB, 桜ファイヤーズC

高学年優勝：桜ファイヤーズA 準優勝 北屋島A

3位 北長池A 南堀A

3 文化芸術に関する事業

(1) 朝陽音頭保存会は朝陽小学校運動会(6月)、朝陽地区敬老会(9月)で朝陽音頭の指導と普及に努め、また長野市甚句・音頭交流会に参加し、12団体と交流を深めた。

(2) ふるさと朝陽を学ぶ会は北長池・北尾張部地区内の歴史探訪を実施。

(10月15日(火)、参加者31名) (説明者 倉石 高英氏 桜新町)

4 人権協議会関連事業

(1) 第27回人権を考える住民集会の開催 6月22日(土)参加者145名

・朝陽小学校 児童会長・白鳥 広太郎さん、ともだち委員会会長・岩島 愛梨さんの意見発表

- ・基調講演 虐待された子、大人になったらこうなった
元被虐待児が語る「その時」から今まで
 - ・講師 石坂 成人 氏（小布施町在住）
 - (2) 朝陽地区人権協議会構成団体役員研修会 の開催
1 1月16日（土）参加者53名
 - ・講演内容 「児童虐待を通じて子どもの人権を考える」
 - ・講師 児童養護施設 三帰寮 寮長 西澤 武十 氏
- 5 朝陽小学校環境整備に関する事業
- (1) 朝陽小学校環境整備推進会 定期総会の開催(4月、PTA総会終了後)
朝陽小学校の第1期計画の目途が、2022年明確となり、校地拡張の初期目的が図られる事から「解散」の承認を得た。
- 6 その他
- (1) 各関係機関主催の研修会・情報交換会等への参加

〈公民館部会〉

長野市朝陽地域公民館連絡会は、朝陽地区住民自治協議会の公民館部会として、学習・文化・芸能及びスポーツの活動を通じて地域の発展と地域住民の交流を図り、もって地域社会の発展に寄与することを目的に、長野市立朝陽公民館と共催して次の行事を行った。

1 文化・芸能活動

- (1) 第54回史跡巡り 6月29日（土）
「満蒙開拓平和記念館・長岳寺・奈良井宿をめぐる旅」参加者134名で実施。
- (2) 朝陽地区敬老会 9月14日（土） 市立朝陽公民館体育館
70歳以上の方を敬愛の心で長寿を祝った。
参加敬老者89名・来賓等72名 合計161名
(運営協力者：赤十字奉仕団18名・交通安全協会4名)
- (3) 朝陽地区成人式 1月2日（木） 市立朝陽公民館体育館
参加新成人80名
(平成11年4月2日から平成12年4月1日に生まれの方)

2 スポーツ活動

- (1) 第51回朝陽地区親善球技大会 8月25日（日）
- | | |
|------------|-------------|
| 成人野球 | ：長野東高校グラウンド |
| 成人女子バレーボール | ：長野東高校体育館 |

グラウンドゴルフ・ペタンク : 朝陽小学校グラウンド

高学年ドッジボール : 朝陽小学校体育館

低学年ドッジボール : 朝陽公民館体育館

ゲートボール : 南堀公園グラウンド

参加選手・監督630名 来賓・役員等91名 合計721名

(運営協力者: スポーツ推進員・赤十字奉仕団・健康推進員・ニュースポーツ同好会・ゲートボール連盟・長寿会・育成会連絡協議会・朝陽公民館)

3 学習活動

(1) 役員研修会

1月18日(土) 朝陽支所2階集会室

公民館部会主催の事業におけるリスク・懸念事項について研究をおこなった。フレイル対策用朝陽音頭体操

(2) 人権研修会等への参加

6月22日(土) 開催の「第27回人権を考える住民集会」に参加した。

〈広報部会〉

広報紙「輝くあさひ」を年4回発行し、住自協の事業とその活動、8区の話題、イベント、朝陽地区の新しい出来事などを積極的に取材しました。写真を多く取り入れるとともに、地域の皆様に親しめる紙面づくりに努めました。また、昨年度に引き続き朝陽地区の事業者から広告を募集し、6社を掲載しました。

1 主たる事業

(1) 輝くあさひ第48号の発行 印刷部数 6, 100部

発行日 令和元年7月1日

主な記事 定期総会、会長挨拶、各部会の事業計画、組織図、平成31年度役員体制、一般会計収支決算書、一般会計収支予算書

(2) 輝くあさひ第49号の発行 印刷部数 6, 100部

発行日 令和元年10月1日

主な記事 ささえ愛あさひ、朝陽市場、子育て広場「赤いほっぺ」、水防訓練、男の料理教室、人権を考える住民集会、地域の防災をアップしよう、支え合いマップづくり研修会、8区の行事・事業、史跡めぐり、親善球技大会、広告

(3) 輝くあさひ第50号の発行 印刷部数 6, 100部

発行日 令和2年1月1日

主な記事 会長の新年挨拶、支所長の新年挨拶、敬老会、オレンジカフェのオープン、戦没者等追悼式、防災施設の視察、青少年健全育成推進

大会、防災講座、健康講演会、災害ボランティア、8区の行事・事業、
綱引き大会、歴史探訪

(4) 輝くあさひ第51号の発行 印刷部数 6,100部

発行日 令和2年3月31日

主な記事 成人式、令和元年度を振り返って、各部会の活動報告、人
権協議会構成団体役員研修会、8区の行事・事業、災害義援金の贈呈、
軽体操とボッチャ講習会

2 部会活動、編集会議

各号編集会議を計9回開催

4月29日、5月26日、6月1日、9月1日、9月8日、11月24日、
12月1日、2月23日、3月1日